

ほっと



令和6年度鮫川中学校
第2学年 第34号
発行日：11月22日(金)
発行責任者：角田 敏文
文 責：須藤 貴大

自分でしたことは自分に返ってくる

今週の道徳では「悪口・陰口」について考えました。「悪口は言ってはいけない」と分かっているながらも、なぜ悪口を言ってしまうのか。なぜ自分の心に留めずに他者に話してしまうのか。悪口を聞いた相手は自分のことをどう思うのか。など様々な角度から考えることができました。

よく、人の悪口を言う人がいます。

「悪口を言わない方がいい」と言っても、その人にはなかなかわかってもらえません。

そこで、このような話はどうでしょうか。

悪口を言うというのは、独り言を言っているわけではなく、必ず目の前にそれを伝えている相手がいま

す。その相手は仕方なく合槌を打ったり、黙って聞いていたりするはずで

す。その悪口を聞きたくないといって大論争になることはほとんどないでしょうし、大喧嘩をしてまで、その悪口を制しようという人もいないでしょう。

しかし、目の前で悪口を聞いている人は、その悪口を言っている人に対して次第に心を閉ざしていくのです。

悪口を言っている人は、目の前の人は味方で、同じ悪口をきくと感じているから反論もせず、黙って聞いているのだと思っています。

そしてさらに悪口がエスカレートし、興奮状態になることもあります。

しかし、悪口を聞いている人は、実は「そこにいない人の悪口をこの人は言うのだから、もし自分がいないところでは、この人はきっと自分のことも悪く言うに違いない。そういう可能性があるのだな」と思いながら聞いているのです。(「こころの遊歩道」小林正観 著 イースト・プレスより)

自分に返ってくる10のコト

1. 笑顔になると、相手も笑う
2. 助けると、相手も助けてくれる
3. 悪口を言うと、相手にも言われる
4. 褒めると、相手も褒めてくれる
5. 許すと、相手も許してくれる
6. 嫌いになると、相手からも嫌われる
7. 嘘をつく、相手にも嘘をつかれる
8. 優しくすると、相手も優しくなる
9. 感謝すると、相手にも感謝される
10. 相手の幸せを願うと、自分も幸せに

これからも、安心感のある学級をみんなで
作っていきましょう。

〈生徒の感想です〉

○人の悪口はみんなが共感しているわけではないし、聞いている相手は嫌な思いをすることがわかりました。

○悪口を言うとストレス発散になったりするけど、聞く相手が不快になり、どんどん自分から遠ざかり、やがて自分が孤独になってしまうことがわかりました。

○相手に共感してもらえると仲間意識が高まり、さらにエスカレートしてしまうことがあります。「絶対に言わない」というのはまだ難しいですが、「悪口を言う」のではなく「相談する」と捉えて生活したいと思います。

○「悪口を言ってはいけない」と思っているうちは、絶対にやめられないと思いました。

週予定

	1	2	3	4	5	6	行事
11/25(月)	道德	国語	保体	数学	社会	英語	
26(火)	理科	音楽	社会	英語	美術	避難 訓練	避難訓練 (6校時)
27(水)	英語	数学	総合	総合	理科		2年思春期講座 (3・4校時)
28(木)	保体	国語	数学	理科	技術	技術	
29(金)	社会	保体	理科	音楽	英語	学活	